

1 活動名**情報のセキュリティ管理 ～Numbers の活用～****2 対象**

高等学園 1 学年の生徒

3 内容と取組の様子

- ・ 4桁の数字のみのパスワードづくりを体験しました（例 銀行のパスワードなど）。
- ・ 事前に iPad アプリ「Numbers」に教師が入力シートを作成しておき、そのシートに生徒が4桁の数字を入力し、パスワードをつくりました。
- ・ 隣の生徒同士で作成したパスワードを見せ合い、パスワードの設定理由をお互いに考えました。
- ・ なぜ、相手に自分のパスワードが分かってしまったのかを考え、その考えを全体の前で発表しました。
- ・ 再度、他人に分かりにくく、かつ、自分には覚えやすいパスワード4桁を Numbers に入力しました。
- ・ 再度、隣の生徒同士で作成したパスワードを見せ合い、パスワードの設定理由を考えました。
- ・ 学級全体で、工夫されたパスワードについて一部を発表しました。



情報モラル (パスワード)								
	1	2	3	4	5	6	7	8
パスワード ①	0	0	0	0				
他人が予想 できそう?	この桁が 小さい	数字 ではない	この桁が 大きい	よく わかる				
つくった人は 覚えやすい?	この桁が 小さい	覚え やすい	この桁が 大きい	覚え にくい				
パスワード ②	0	0	0	0				
前回から の工夫点								

4 使用したツール(システム・アプリ・ソフト・教材等)

プロジェクター, iPad, アプリ「Numbers」

5 おすすめポイント

- ・ 自分に覚えやすいパスワードは、他人にもすぐ分かってしまいやすいことが実感できる。
- ・ お互いに工夫した点や、頑張った点を、伝え合うことで、さらに自分の課題に気付いたり、さらに考えを深めたりすることができる。
- ・ Numbers を共有すれば、見せ合わなくてもリアルタイムに情報を共有できる。

6 さらに工夫したいこと

- ・ 応用編として、8桁以上や英字（大文字・小文字）、数字の組み合わせにも同様に取り組みたい。